

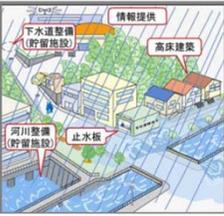
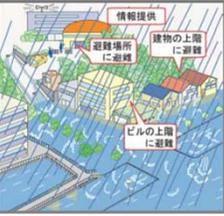


### 豪雨対策の目的

基準1：浸水被害防止

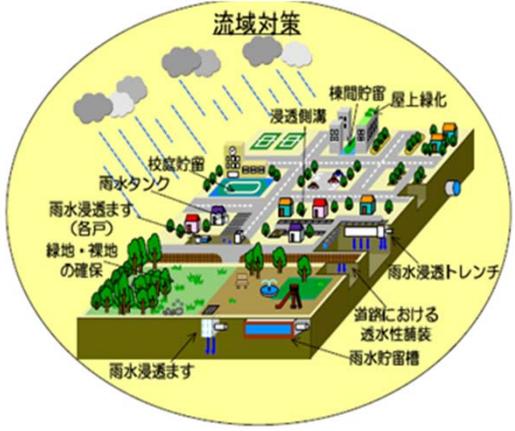
基準2：床上浸水等防止

基準3：生命安全

東京都 4

### 流域対策



東京都 5

### 大規模遊水地の例

平常時

洪水調節時(平成26年10月6日)




横浜市

洪水調節量390万m<sup>3</sup> プール13,000杯分  
 貯留実績 154万m<sup>3</sup> プール5,100杯分 6

### 下水道による雨水対策




南元町雨水調整池(東京都)  
 1万3000m<sup>3</sup> プール**43**杯分

新羽末広幹線(横浜市)  
 直径8.5m 長さ約20km  
 41万m<sup>3</sup> プール**1370**杯分

東京都 7

## 合流式下水道の改善

**下水道での対策ポイント**

- ①下水道からゴミを出さない(流しとる、沈めとる) 高速ろ過、スクリーン、オイルフェンス等
- ②雨天時下水をこぼさない 貯留池、貯留管、しゅ集管等
- ③雨水を入れない 浸透ます、雨水貯留

**取り組みのポイント**

- ①東京都・市一体
- ②官民一体
- ③ハード+ソフト(流さない)

国交省・東京都HPより編集 8

## 雨水管理のスマート化(イメージ図) 新下水道ビジョンより

**スマートな雨水管理**

- 雨に強い都市の構築 (ハード、ソフト、自動を組み合わせた総合的な浸水リスクマネジメント)
- 安全・安心な水環境の創出 (雨天時における公衆衛生上のリスク最小化)
- 渇水等に強い都市の構築 (雨水利用)

9

## 内水ハザードマップ

内水ハザードマップとは、大雨が降ったときに浸水が発生しやすい場所を示した地図です。

内水ハザードマップ(横浜市西区の例)

10

## 官民連携による浸水対策

センターゾーンにおける官民連携イメージ

現状 10年に1回発生する降雨 (80mm/h) 公共下水道施設

目標 30年に1回発生する降雨 (76mm/h) 公共下水道のレベルアップ

90年に1回発生する降雨 (82mm/h) 民間の敷地内貯留施設

横浜市 11

## ウォーターフロントに思う



装いを一新して賑わう神田川万世橋界隈

水の三要素  
水質、水量、水辺  
素颜美人／お化粧美人／整形美人  
さて、2020年のオリンピック、  
どんな「おもてなし」を  
したらいいのでしょうか

下水道にはまだまだやらなければ  
いけないことがいっぱいある。



高度処理水によるせせらぎ(横浜市)

12